

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
（分担）研究報告書

医療機関における院内感染対策の質向上のための研究

研究分担者 大毛宏喜 国立大学法人広島大学 教授
松本哲哉 国際医療福祉大学成 主任教授
三嶋廣繁 愛知医科大学医学部 教授
満田年宏 東京女子医科大学感染制御科 教授
森兼啓太 山形大学医学部 准教授
柳原克紀 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授
四柳 宏 東京大学医科学研究所 教授

研究要旨

国内外の感染対策ガイドライン、各種ガイドライン、感染制御に関する論文、新興再興感染症に関する論文を基に、新興再興感染症にも対応可能なガイドラインを作成した。1. 病院感染対策の組織作り、2. 手指衛生・隔離予防策、3. サーベイランス・病態別感染対策、4. 病原体別感染対策、5. 感染症と病院環境整備、6. 中小病院・高齢者施設での感染対策、7. 外来・診療所における感染対策、8. 救急領域における感染対策、9. その他として、抗菌薬適正使用、アウトブレイク時の対応、ワクチン、職業感染対策、医療廃棄物関連、感染症法、ICU/NICUでの感染対策、歯科口腔外科領域での感染対策、病院内の換気についてガイドラインを完成した。

A. 研究目的

一般社団法人日本環境感染学会と連携し、新興再興感染症の感染対策を加味した院内感染対策ガイドラインを作成することが目的である。

B. 研究方法

令和3年度は、国内外の感染対策ガイドライン、各種ガイドライン、感染制御に関する文献を調査し、院内感染対策ガイドライン案を作成した。担当分野を分けて、国内外の感染対策ガイドライン、各種ガイドライン、感染制御に関する論文、新興再興感染症に関する論文を検索し、ガイドライン案を作成した。令和4年度は、未完成の部分を作成し、ブラッシュアップを行った。さらに、追加した項目として、ICU/NICUでの感染対策、歯科口腔外科領域での感染対策を追加した。令和5年度は、講習会として第38回日本環境感染学会総会・学術集会時にてシンポジウムを開催し、ガイドラインを広める共に、ガイドラインを完成させた。

C. 研究結果

病院感染対策の組織作り、隔離予防策に

ついては満田年宏、手術部位感染防止、腸管感染防止、救急領域における感染対策については大毛宏喜、サーベイランス、カテーテル関連血流感染防止、尿路感染防止について森兼啓太、人工呼吸器関連肺炎防止、結核・呼吸器・耐性菌対策について柳原克紀、新興感染症対策、ウイルス感染対策、新型コロナウイルス感染症について松本哲哉、病院環境整備、中小病院での感染対策、外来・診療所での感染対策について吉田正樹、抗菌薬適正使用、アウトブレイク時の対応、ワクチンについて三嶋廣繁、職業感染対策、医療廃棄物関連、感染症法について四柳宏が担当し、追加した項目として、ICU/NICUでの感染対策、歯科口腔外科領域での感染対策の執筆を行った。

推奨ランク（A：強く推奨する、B：一般的に推奨する、C：任意でよい）、文献ランク（Ⅰ：最低1つのRCT(Randomized Controlled Trial)またはMeta-analysisによる実証、Ⅱ：RCTではない比較試験、コホート研究による実証、Ⅲ：症例集積研究や専門家の意見）を基準として作成した。

D. 考察

令和3年度は、研究期間が短期間であったために、すべての分担項目について、ガイドライン案の作成ができなかった。令和4年度は、令和3年度で出来なかったものを作成させ、さらに不足している項目については、新たに作成を行った。令和5年度には、ガイドラインを完成させた。

E. 結論

新興・再興感染症を加味した院内感染対策ガイドラインのを完成できた。

G. 研究発表

なし

F. 知的財産権の出願・登録状況

なし